

インターネット上の気象情報 WWW サーバー構想

菊地 時夫 (高知大学理学部)

1 はじめに

最近、学術研究用として発達してきたインターネット (Internet) を広く開放し、情報ハイウェイとして利用しようという動きが活発になってきている。気象学の分野についても、米国においては、大学だけでなく、NOAA, NWS などの気象機関が積極的に気象情報の提供をおこなっているが、日本国内においては気象情報公開だけでなく、研究情報の提供も遅れている。

高知大学理学部情報科学科では、試験的に WWW (World-Wide Web) サーバーを立ち上げ、情報サービスを開始しているので、その状況などについて報告し、気象情報をインターネット上で公開することの可能性について議論したい。

2 WWW を利用するためのソフト

高知大学においては、インターネットに接続された UNIX ワークステーションがあり、その上で CERN で開発された httpd-3.0 を利用してサーバーとしている。サーバーソフトとしては、他に NCSA で開発されたものなど種類があり、ほとんどがパブリックドメインソフトである。

一方、クライアント側としては、NCSA Xmosaic など多くの種類があるが、UNIX ワークステーションだけでなく、Mac や Windows などパソコンでの利用が可能である。



図1. 高知大学 WWW の「気象情報の目次」

3 WWW サーバーで公開されている情報

本サーバーでは、学科の情報を公開するとともに、主に Wisconsin 大学のサーバーから定期的に転送している気象衛星画像などを載せている。図1に、「気象情報の

目次」が表示されている様子を示す。「静止気象衛星による全球画像」¹「極軌道衛星による南極画像」がありそれぞれ3時間毎に最新の画像を載せている。

4 WWW の運用状況

表1に、94年4月から12月までの間に高知大のWWWにファイル転送要求のあった件数を載せた。高知大内部からのアクセスが1/4程度を占めるが、気象情報の目次へのアクセスが大きなウェイトを占めていることがわかる。

表1 高知大学 WWW サーバーのアクセス統計

月	全部	高知大	ホーム	文書	気象
Apr	1115	659	162	213	0
May	4694	2230	586	870	0
Jun	13839	9276	1468	2791	316
Jul	23947	7433	1705	4555	1645
Aug	23077	5959	1609	5016	1776
Sep	56213	20272	3018	15515	3773
Oct	34554	7691	2250	7467	2714
Nov	41961	11349	2392	7972	2934
Dec	39086	6267	2352	7982	2917
合計	238486	71136	15542	52381	16075

図2には、サーバーを立ち上げて以来の日毎のアクセス件数をグラフに示しめした。150日目近くに際だったピークがあるが、これは大学の公開講座で50人の受講生が一度に利用したことによるもので、170日目近くの第2のピークは台風29号の接近によってアクセスが増えたためである。

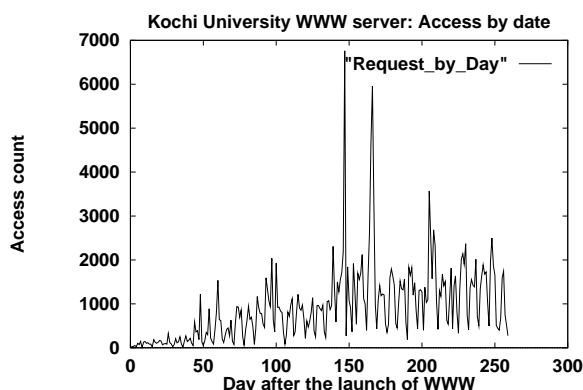


図2 高知大学 WWW の日毎のアクセス件数

5 おわりに

インターネットに気象情報を提供する試みを行なつてみて、この種の情報の要求が高いことがあらためて明らかになった。今後、気象庁など関係機関からの積極的な情報の提供を期待したい。

¹ 仲介の労を取っていただいた、東京大学生産技術研究所の 沖 大幹 氏に感謝します。